

応用課程見学



9月16日、1年生が四国職業能力開発大学校(以下、四国校)の応用課程を見学に行きました。

応用課程とは、当校での2年間の専門課程を学んだ後に進学できる2年間の教育訓練課程です。応用課程では、OJTを意識した教育訓練システムにより、高度な技能・技術や企画・開発能力などを習得し、ものづくりの先生や現場のリーダーとしてふさわしい素地を身に付けることができます。四国校の応用課程へは当校から毎年多くの学生が進学しています。学生たちは説明を聞いたり、制作物を間近に見ながら進学に対するイメージをふくらませていました。



電子情報技術科の学生たち。



生産技術科の学生たち。



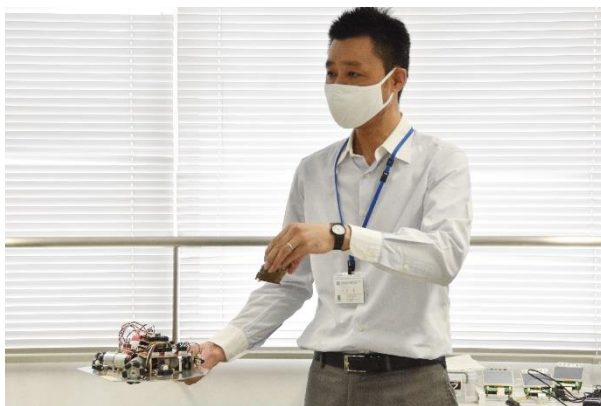
食堂でランチ。ぶっかけうどん(220円)はオススメですよ(^^)。ちなみにかけうどんは170円！



生産電子情報システム技術科の見学。先輩たちが実際に学ぶ姿を見ながら説明を聞きます。



真剣な表情で聞く学生たち。



生産電子情報システム技術科1年生の標準課題の説明。



生産電気システム技術科の説明。自然エネルギーを電気エネルギーに変換するシステムを紹介しています。



生産機械システム技術科の説明。



生産機械システム技術科1年生の標準課題を見学。



たくさんの工作機械が並ぶ実習場を見学しています。



エコカーレースで2年連続準優勝をした燃料電池自動車。実際に乗せてもらいます。予想以上のスピードに「気持ちいい！」



去年の開発課題(卒業制作)、「超小型モビリティ」。こちらも試乗します。



見ている友達も笑顔(^^)



最後は、当校から応用課程に進んだ先輩たちとディスカッション。



生で聞ける先輩の話は貴重です。



「応用課程に行くために今から学んでおくべきことは何ですか？」など、学生たちから質問が出ました。